

伯耆町部活動地域移行協議会 まとめ

令和6年8月26日(月)

18時30分

溝口公民館 中会議室

1 開会

※子どもたちの活動を支援することが目的。地域スポーツ環境の整備を進めていきたい。

2 内容

(1) 伯耆町立中学校等における部活動の地域連携・地域移行推進計画(概要版)について

(2) 伯耆町における当面の取組について

①第3回協議会より

①①部活動等の活動の持続性 ②教職員の働き方改革 ③地域活性化をねらいとしているが、協議会としては子ども達のために①を優先して取り組む。

②まずは、「拠点校型」「地域連携型」めざす。

③「地域連携型」においては、休日は部活動指導員のみが指導に当たり、休日の部活動を望まない教員が休める体制を整える。

④「拠点校型」「地域連携型」への窓口は町教委とする。

⑤「拠点校型」「地域連携型」のニーズを学校と町教委で共有していく。

⑥事務局は、部活動指導員の人材確保を推進する。

⑦事務局は、施設管理、施設等の管理の在り方を検討する。

⑧事務局により、町推進計画を公表し、積極的に発信することに努める。

※③について。休日の部活動をやりたい教員も多い。「地域連携として取り組む場合は休日の部活動を望まない教員が休める体制」という解釈で取り組む。県の方針は働き方改革方も求められる。

②地域連携・地域移行の認定の流れ(案)

9月 事務局により、町推進計画を公表し、積極的に発信することに努める。「地域連携型」においては、休日は部活動指導員のみが指導に当たり、休日に指導したくない教員が休める体制を整える。

10月 「拠点校型」「地域連携型」のニーズを学校と町教委で共有していく。次年度の部活動指導員の希望と体制づくり(学校⇄事務局)「拠点校型」「地域連携型」への窓口は町教委とする。

11月 スマイリー所属等の団体立上げの書類整備
中体連認定審査会へ向けた書類整備

2月 中体連認定審査会

3月 協議会事務局による認定

4月 中体連大会所属の決定(学校・地域移行クラブ・その他)

※町の地域移行型クラブの認定について

※中体連出場認定を町の地域移行型クラブの認定条件としている。

※認定証の期間は1年間。部員等要件の変化に対応するため。

※伯耆町の認定手続き内、認定要件の確認①②は同時進行となるだろうから、表現を工夫してほしい。スマイリークラブの要件は町民2/3としている。引退に伴う一時的な2/3以下は許容範囲としている。

※町内同一種目で2つのクラブが存在している状態にないようにしてほしい。

※第一義は子どものスポーツ環境を優先してやりたい。その都度相談していくことになるだろう。

③地域連携・地域移行へ向けた具体的な団体の選定について

※岸本女子柔道クラブの地域移行型クラブ認定について。

※全国・中国大会出場を契機に、同時進行的に、地域移行の制度を整備した。類型E。

※伯耆ライジングは類型F。

※中体連大会参加については、出席扱いが妥当であり出席とする。県教委としても規定してほしい。

※地域連携型・拠点校型については、本協議会での協議を経るのではなく、報告で対応したい。組織図内「連絡協議会」で対応できるようにしたい。

3 意見交換・情報交換

※岸本女子柔道クラブの地域移行は大きな一歩。これに準じて今後は推進していくことになる。

※今後、「推進計画」と「認定について」を同時に発信していく。その過程で、ニーズを町教委に届けてほしい。優先順位を定めて対応していきたい。

※「原則受益者負担」がボトルネック。溝口・岸本間の移動手段の確保が課題。バスのドライバー不足もある。

※1年間をかけて部活動指導員を推薦していただきたい。

※米子市は合同部活動を推進している。自転車での移動も部活動としての保障がある。伯耆町でも研究が必要。

※自治体によっては、「バスはあるが乗員1名」「指導者5名で参加者1名」などの日もある。財政支援はどの自治体も苦勞している。

※中学校の部特勤（特殊勤務手当時給900円で上限6時間）よりも謝金を出せる仕組み。

※スマイリージュニアクラブからそのまま中学生として続けていけるような流れがよい。

4 今後のスケジュール

・第6回伯耆町部活動地域移行協議会

令和7年 3月 中旬 18時30分～20時00分

(参考)

第1回伯耆町部活動地域移行協議会 令和5年10月30日(月)

第2回伯耆町部活動地域移行協議会 令和5年12月18日(月)

第3回伯耆町部活動地域移行協議会 令和6年 2月26日(月)

第4回伯耆町部活動地域移行協議会 令和6年 6月17日(月)

第5回伯耆町部活動地域移行協議会 令和6年 8月26日(月)

5 閉会